

意思表示の弱い知的障害者への 就労支援の取り組みについて

～医療法人だからできる
他職種連携によるアプローチ～

山崎 美苗（医療法人メディカルクラスタ たまフレ！）

たまフレ！ってどんなところ？①

就労移行支援

障害や難病のある方が、一般企業等への就労を目指す方へ、働くための知識や能力を身につけることができるサービスです。

計画相談支援

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスにむけてケアマネジメントによる支援を行います。

就労定着支援

就労後、仕事内容や人間関係といったさまざまな不安が出てくる場合があります。そういったときに事業所が利用者と企業の間を仲介し、業務環境の調整を行います。

就労継続支援B型

障害や難病のある方のうち、年齢や体力などの理由から、企業等で雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業などの就労訓練を行います。



たまフレ！ってどんなところ？②

精神科医からの
アドバイス（必要に応じて）

ナース講座
（1か月に1回）

医療チームがバックアップ

栄養士による
栄養指導
（必要に応じて）



言語聴覚士による
リハビリ評価
（必要に応じて）

作業療法士による
作業評価・認知評価
（1週間に1日）

社会福祉士による
相談援助（随時）

事例の概要

- ・ Aさん 19歳の女性・知的障害（療育手帳B 1 を所持）
- ・ 養護学校（高校）卒業後、就労移行支援事業所通所

<課題>

- ・ 日常会話・質問の理解は可能。
- ・ 発語において順序だてて話すことが苦手。
- ・ 表情が固く、発話の場面でうつむきがち。
- ・ 意思決定場面において、消極的で自分の意見が言えない。
- ・ 語尾が曖昧で、音量が小さく聞き取りにくい。



作業療法士・言語聴覚士へ評価依頼

- ・ 障害が原因か？
- ・ パーソナリティからくるものなのか？
- ・ 有効な解決方法は？



作業療法士
言語聴覚士
による評価風景



□作業療法士評価

- ・理解力・注意機能能力・情報処理能力が低い
- ・注意できる容量・切り替え能力・分配能力が低い
- ・情報処理速度が遅い
- ・視覚情報優位
- ・自信がない



<支援方法>

- ①本人に適した活動・作業・環境を提供し、褒められる・求められる・役立つ体験を積み重ねる。
- ②難しい課題の提供をする際は、工程の細分化、段階的な課題の提供と援助方法の工夫、継続期間の評価（学習が得られているかどうかの判断）が必要。

□言語聴覚士評価

- ・発声器官に問題はない
- ・状況理解はよく、礼節は保たれている
- ・遂行機能能力が低い
- ・情報処理速度が遅い
- ・注意の分配能力が低い
- ・音量が小さい
- ・自信がない



<支援方法>

- ①本人の能力にあった細分化した、小さな課題を提供する。
- ②時間はかかるものの、自分で考察できるため、受け手側が辛抱強く待つといった環境を提供する。
- ③身近なテーマを決めての会話、セリフのない漫画の説明など、本人に考えて話してもらおう作業を取り入れ、話かたのパターンを習得する。

個別支援計画書

利用者氏名	〇〇 〇〇	障害支援区分		事業所名	たまフレ！
計画案作成日	2020/〇/1	モニタリング期間(開始年月)	3カ月	計画作成者氏名	山崎 美苗
利用者及びその家族の生活に対する意向	自分にあった仕事を見つけて今年度中に就職したい。 早く就職してほしい(家族)				
総合的な支援の方針	日々の就労訓練・施設外就労・企業見学・実習などの経験を活かしながら、就労準備性を高めていきます。その上で、ご本人が望む仕事を見つけ、就職できるよう支援していきます。日々の活動により、自信を持つことができ、自分の意見を発言できるような訓練を提供していきます。				
長期目標	期 間	6ヶ月	希望する会社に就職している。		
短期目標		3ヶ月	企業実習を実施し、自分にあう職場環境を見つけることができるようになる。自分の意見を発言できる。		
生活全般の質を向上させるための課題	目 標	支援内容	課題解決のための 本人の役割(取組み内容等)	その他 留意事項	達成時期
なんとなく得意な仕事は分かってきたが、就職を考えたときに、それでいいのか自信がない。そのため、求人への絞り込みが出来ない。	得意な仕事はさらに自信がつくまで取り組む。少しずつ自信を持って、できることを増やしていく。	自信を持ってできる作業を増やすために、作業課題を細分化し、時間をかけて提供していきます。	覚えた作業は、他者に教えられやすいレベルまで取り組む。		3カ月
社会に出て行くこと(就職すること)に不安がある。	たまフレ！の訓練活動を通して、社会のルールを学んだり、事業所外での活動に取り組む。	高齢者施設での清掃を通して、他社から感謝されることで得られる達成感を感じて頂きながら、社会参加する機会を提供していきます。	事業所外での活動(高齢者施設や施設外就労等)に参加する。		3カ月
自分の意見を相手に伝えることが苦手。恥ずかしい。	自分の意見が発言できるようになる。	話しやすい題材を用いたグループワークを実施し、考えながら発言する機会を増やしていきます。	時間がかかっても、少しずつ自分の意見を発言していく。		3カ月

手作業



高齢者施設での清掃作業



コミュニケーションに関する自己評価表

質問項目	選択肢	通所当初		支援後	
		本人	サービス 管理 責任者	本人	サービス 管理 責任者
人と話すことは好きですか？	①とても苦手 ②苦手 ③どちらかという苦手 ④あまり苦手でない ⑤苦手でない	③	②	④	③
人と関わることに いて当てはまるもの を選びなさい	①緊張する ②恥ずかしい ③不安 ④怖い ⑤思っていることを言葉に出来ない ⑥相手の話を理解できない ⑦言葉遣いが難しい ⑧人と関わるのが好きでない ⑨集団が苦手 ⑩人との距離感が分からない ⑪人と関わった経験が少ない ⑫人に慣れるまでに時間がかかる ⑬嫌な経験をしたことがある ⑭自分では理由が分からない	①②⑤⑥ ⑨⑩	①②③⑤ ⑥⑨	②⑤⑨⑫	②⑨⑫
自分が出来ていると 思うものを選びなさい	①挨拶 ②お礼が言える ③謝ること ④笑顔で話す ⑤返事 ⑥人の話を聞くこと ⑦相手の話に合わせて話すこと ⑧必要な報告・連絡 ⑨自分の考えや思いを伝えること ⑩困っているときに助けを求めると ⑪手伝いをしたり、困っている人を助けること ⑫用事がなくても話かけること	①⑤⑥⑦ ⑧	⑥	①⑤⑥⑧ ⑨	①②⑤⑥ ⑧⑨
人とのコミュニケーションにおいてこの 先、どうなりたいと 思いますか？	自由記載（サービス管理責任者は見立て）	話せるよ うになり たい	（言いた いことを 言えてい ない）	少しでも 自分から 話せるよ うになり たい	（時間は かかるが 意思表示 できる）